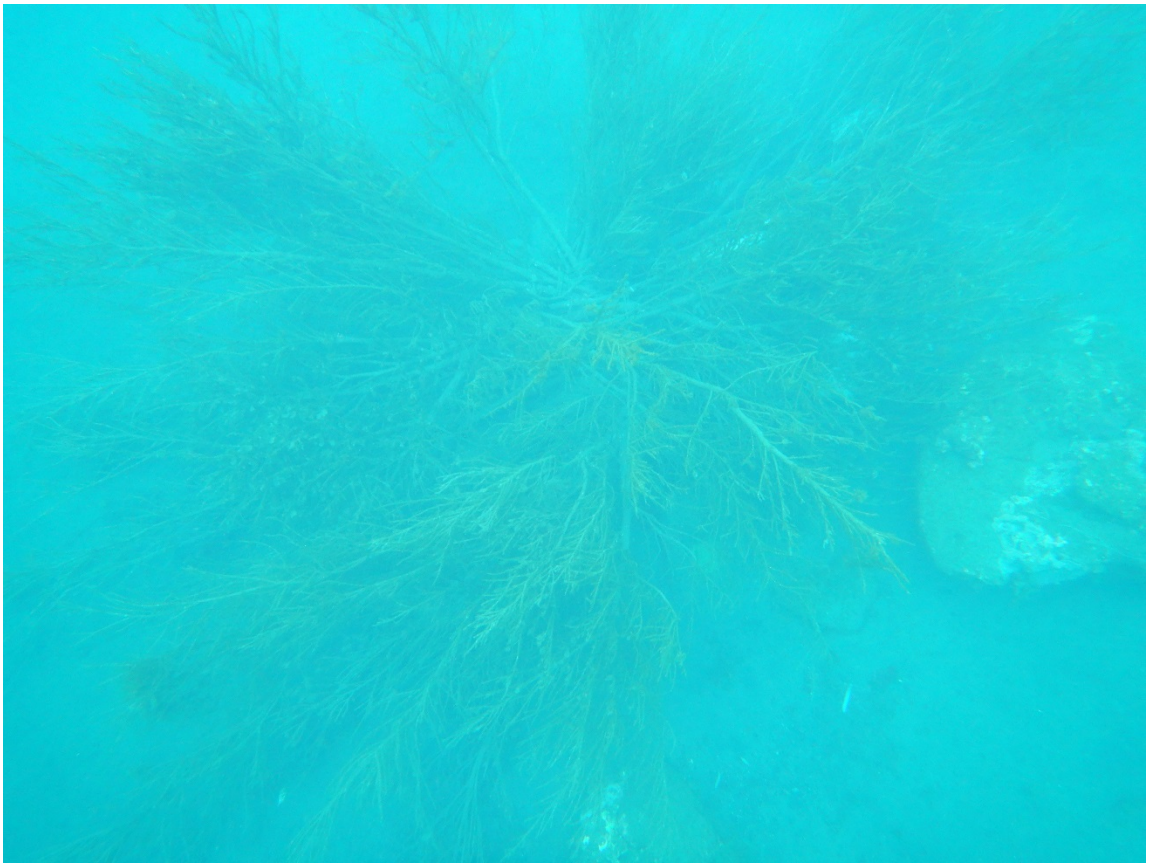
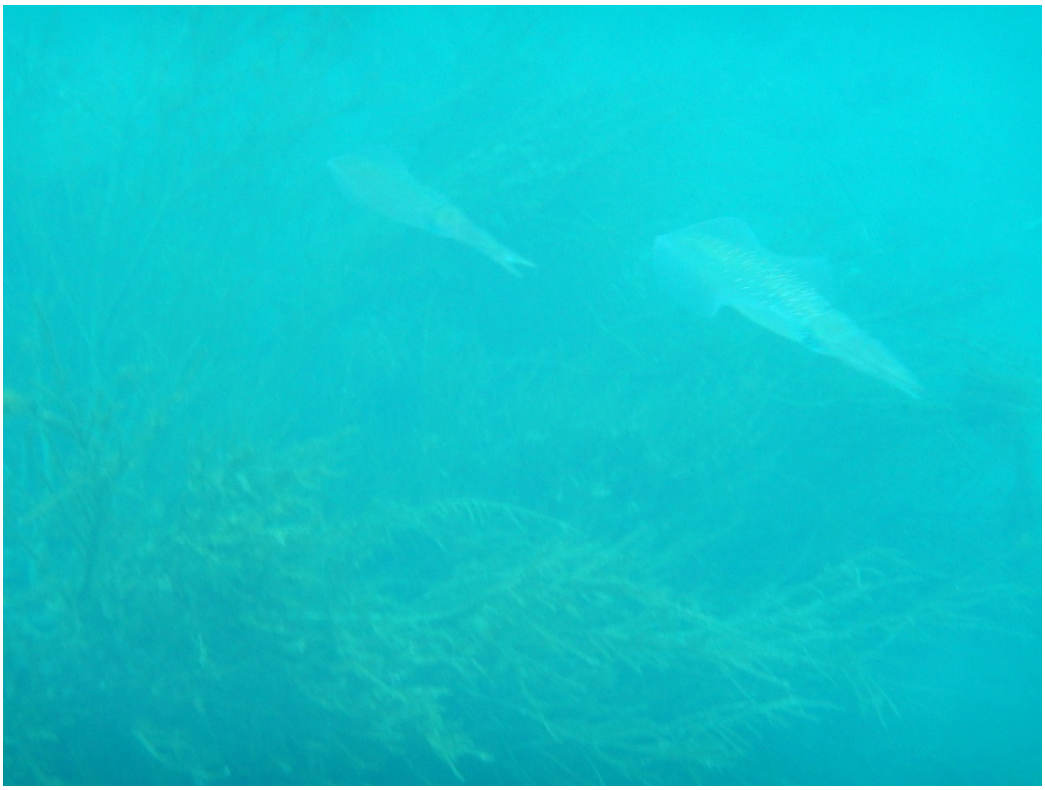
アオリイカを増やすにはどうしたらいイカ？
～三宅島：見えない場所での努力～

　悪い噂は広く深く長く記憶に留まり、その対抗策は難しいですが、伝えないと言われっぱなしです。水産業界の「見えにくい努力」を伝える事も必要ではなイカと考えています。秋頃に HP を改修し、子ども向けのページも作りますので、分かりやすいように楽しく伝えられる内容を考え中です。

　第一弾として 6 月末の三宅島のアオリイカの例を挙げようと思います。
　台風の余波で写真が不鮮明ですが・・・。
　6 月末に東京都の三宅島で海に潜ったときの話しです。
　台風の大波のため、漁港内で泳げる場所に入ったところ、水深 5 メートルの海底 7-8mの木の枝が束ねられて沈められていました。



こ、これは！と、函館イカマイスターは周囲を探します。
水が濁って見えにくいながら、周りにはアオリイカが 8 杯泳いでいました。



沈められた枝には卵がモッサリ。

漁師さんに聞いたところ、取るだけでは減ってしまうので、漁業協同組合でアオリイカの産卵場所を作り、卵が流れにくい波が少ない港の中で一番重要な時期の卵を守る。
「何年前から行っているか？そんなこと覚えてないナァ。」とのこと。

この様な取り組みは全国各地で行われています。
が、どこで行われているか、何を行っているかは知られていません。
この様な情報が水産ブランドのイメージアップにつなげられないか？と考えています。

（早武　忠利）